

貝津北地区計画【チェックシート】 沿道業務地区

受付年度		受付番号		氏名又は名称	
------	--	------	--	--------	--

1. 添付図書のチェックリスト

行為の種類	図面	備 考	届者	市
①建築物の建築 (建築、増築、改築、移転) <input type="checkbox"/> 用途の変更 <input type="checkbox"/> 形態意匠の変更	位 置 図	敷地の位置の表示 (1/2,500以上)		
	配 置 図	敷地内の施設の配置 (1/100以上)		
	平 面 図	各階平面図 (1/100以上)		
	立 面 図	各面 (※2面以上着色) (1/100以上)		
	求 積 図	敷地面積、建築面積、延べ面積 (1/100以上)		
②工作物等の建設 (広告物、看板類、かき、棚、擁壁、フェンス、植栽、花壇等) <input type="checkbox"/> 用途の変更 <input type="checkbox"/> 形態意匠の変更	位 置 図	敷地の位置の表示 (1/2,500以上)		
	配 置 図	敷地内の施設の配置 (1/100以上)		
	立 面 図	異なる面ごとに着色 ※工作物、植栽、花壇等を記入 ※地盤面からの高さを記入 (1/100程度)		
	断 面 図	擁壁等 [随時] (1/20程度)		

2. 届出内容のチェックリスト

項 目	チェック内容	届者	市
①用途	用途は適合するか：用途	適・不適	
	併用部分は適合するか：用途 併用部分/全体床面積＝	$\frac{\text{m}^2}{\%} \leq 50\%$ 適・不適	
	付属家は適合するか：用途	m^2 適・不適	
②容積率の最高限度	容積率は200%以下か： 延べ面積 m^2 /敷地面積 $\text{m}^2 \leq 200\%$ %	適・不適	
③建蔽率の最高限度	建蔽率は50%以下か 建築面積 m^2 /敷地面積 $\text{m}^2 \leq 50\%$ %	適・不適	

項 目	チェック内容	届者	市	
④敷地面積の最低限度	敷地面積は500㎡以上あるか： m^2	適・不適		
⑤壁面の位置の制限	建築物の隣地境界の距離は3m以上か m	適・不適		
	上 記 用 外	外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計は3m以下か： m	適・不適	
	適	物置は軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5㎡以下か： m^2	適・不適	
	用	自動車車庫等で高い開放性を有するものか m^2	適・不適	
⑥建築物の高さの最高限度	建築物の高さは20m以下か： m	適・不適		
	道路斜線：高さは11.25m以下か： m	適・不適		
	注)高さ制限を超えた場合は、個別に検討が必要 日影規制：高さは10m以下か： m	適・不適		
⑦建築物の形態又は意匠の制限	擁壁等は景観に留意された構造・仕上げか： (自然石、化粧ブロック等)	適・不適		
	擁壁は張り出し形状となっていないか：	適・不適		
	建築物等の色は、地区環境と調和のとれた自然で落ち着いたものか：	適・不適		
	広告物・看板名は、刺激的な色彩又は装飾を使用していないか：	適・不適		
	造成完了時における敷地の形質の変更を行うか： (※1)	Yes・No		
変更記号を記入する場合	車庫の設置・作庭に伴う軽微なものであるか：()に伴うもの	Yes・No	適・不適	
	人や車の出入りのためのものであるか：	Yes・No		

< 記入上の注意 >

- (1) 届け出る行為に該当する項目の「届者」欄に○印を付けると共に、「チェック内容」欄に必要な事項を記入してください。
- (2) 太線の枠内は記入しないでください。

※1 敷地の形質の変更については、敷地境界部の擁壁等の築造は除くものとする。

貝津北地区計画【チェックシート】戸建住宅地区

受付年度		受付番号		氏名又は名称	
------	--	------	--	--------	--

1. 添付図書のチェックリスト

行為の種類	図面	備考	届者	市
①建築物の建築 (建築、増築、改築、移転)	位置図	敷地の位置の表示 (1/2,500以上)		
	配置図	敷地内の施設の配置 (1/100以上)		
	平面図	各階平面図 (1/100以上)		
	立面図	各面(※2面以上着色) (1/100以上)		
□用途の変更 □形態意匠の変更	求積図	敷地面積、建築面積、 延べ面積 (1/100以上)		
②工作物等の建設 (広告物、看板類、かき、柵、 擁壁、フェンス、植栽、花壇 等)	位置図	敷地の位置の表示 (1/2,500以上)		
	配置図	敷地内の施設の配置 (1/100以上)		
	立面図	異なる面ごとに着色 ※工作物、植栽、花壇等を記入 ※地盤面からの高さを記入 (1/100程度)		
	断面図	擁壁等 [随時] (1/20程度)		
□用途の変更 □形態意匠の変更				

2. 届出内容のチェックリスト

項目	チェック内容			届者	市
①用途	用途は適合するか:用途		適・不適		
	併用部分は適合するか:用途 併用部分/全体床面積=	m ² % ≤50%	適・不適		
	付属家は適合するか:用途	m ²	適・不適		
②容積率の最高限度	容積率は80%以下か: 延べ面積 m ² /敷地面積 m ² ≤80%	%	適・不適		
③建蔽率の最高限度 《角地緩和:あり・なし》	建蔽率は《50%・60%》以下か 建築面積 m ² /敷地面積 m ² ≤《50・60》%	%	適・不適		
④敷地面積の最低限度	敷地面積は180m ² 以上あるか:	m ²	適・不適		

項目	チェック内容		届者	市	
⑤壁面の位置の制限	建築物の隣地境界の距離は1m以上か	m	適・不適		
	上記適用外	外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計は3m以下か:	m	適・不適	
		物置は軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5m ² 以下か:	m ² m ²	適・不適	
		自動車車庫等で高い開放性を有するものか		適・不適	
⑥建築物の高さの最高限度	建築物の高さは10m以下か:	m	適・不適		
	道路斜線:高さは8.75m以下か:	m	適・不適		
	北側斜線:高さは6.50m以下か:	m	適・不適		
	日影規制:軒の高さ7.0m以下か: :階数が3以下か:	m 階	適・不適		
注)高さが制限を超えた場合は、個別に検討が必要					
⑦建築物の形態又は意匠の制限	擁壁等は景観に留意された構造・仕上げか: (自然石、化粧ブロック等)		適・不適		
	擁壁は張り出し形状となっていないか:		適・不適		
	建築物等の色は、地区環境と調和のとれた自然で落ち着いたものか:		適・不適		
	広告物・看板名は、刺激的な色彩又は装飾を使用していないか:		適・不適		
	造成完了時における敷地の形質の変更を行うか: (※2)		Yes・No		
	変更記号を形成する場合	車庫の設置・作庭に伴う軽微なものであるか:(に伴うもの) → Yes・No 人や車の出入りのためのものであるか: → Yes・No	適・不適		
⑧垣又はさく	敷地境界に面する垣又はさくを設置する場合、次に掲げる内容になっているか: 1 生け垣 2 敷地地盤面からの高さが2m以下のフェンス等で、高さ0.6m以上の部分は透視可能な構造のもの(※1)		適・不適		

<記入上の注意>

- (1) 届け出る行為に該当する項目の「届者」欄に○印を付けると共に、「チェック内容」欄に必要な事項を記入してください。
- (2) 太線の枠内は記入しないでください。

※1 敷地地盤面より高さ2.0m以下かつ道路面の見付面積となる部分の開口率が50%以上の透視可能な構造とする。
 ※2 敷地の形質の変更については、敷地境界部の擁壁等の築造は除くものとする。